

このたびは、リッチェル製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管して下さい。本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組み等をわかりやすくするため、現物とは多少異なることがあります。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も併せてお渡し下さい。

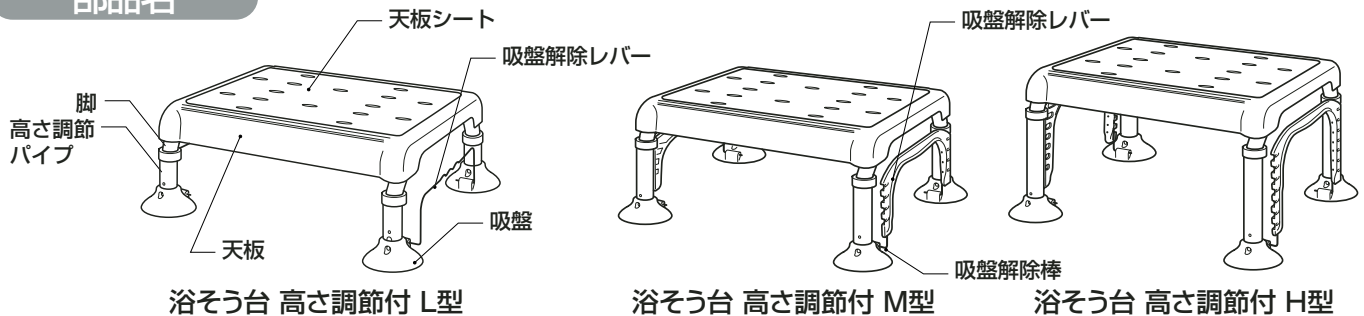
## 用 途

- 本品は入浴時の椅子や浴そう内の踏み台としてお使い下さい。

## 特 長

- 体格や浴そうの深さに合わせて1.5cm間隔で高さが調節できます。(L型:2段階、M型:4段階、H型:7段階)
- 吸盤解除レバーは浴そう台の高さに合わせて握りやすい位置に調節できます。(M型、H型)
- 天板の滑り止めゴム製シートは、取外して洗えるので衛生的です。
- 丈夫でサビにくいステンレス製パイプです。

## 部品名



浴そう台 高さ調節付 L型

浴そう台 高さ調節付 M型

浴そう台 高さ調節付 H型

### ○記号の説明

この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて次のマークで表示しています。各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

- ▲警告** … 取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながる恐れのあるもの。
- ▲注意** … 取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながる恐れのあるもの。
- 重要** … 取扱いを誤った場合、製品の故障・損傷・早期寿命などを招く恐れのあるもの。

## 使用上の注意

### ▲警告

- 使用者がご自身の安定を十分に保てない場合は、介助者の付き添いの上使用して下さい。
- 天板の端に足を置かないで下さい。片方の脚が浮き上がり、転倒によるケガの原因となり、大変危険です。
- 入浴時の椅子、または浴そう内の踏み台として使う用途以外は絶対に使用しないで下さい。
- 浴そう内の排水口、給水口、給湯口の近くで使用しないで下さい。やけどの原因となったり、止水栓の鎖や蛇口が邪魔になり大変危険です。
- 循環式洗浄温水器(24時間バス)に該当する機器を使用の場合、使用時以外は本品を浴そう内に入れたままにしないで下さい。本品の劣化が早くなり、ケガ・事故の原因となります。
- 天板シートを外したまま使用しないで下さい。滑ってケガをする恐れがあります。
- 本品の使用目的以外の使用は避けて下さい。破損・ケガをする恐れがあります。
- 体や本品の天板、滑り止め、吸盤の裏にシャンプーや石けん等が付いていると滑りやすく大変危険です。洗い流してから使用下さい。
- 天板に飛び乗ったりしないで下さい。本品が動いて不安定になりケガの原因となります。
- 浴そう内の不安定な場所に設置しないで下さい。転倒によるケガの原因となります。
- 洗い場では使用しないで下さい。吸盤が効かない場合がありますので大変危険です。

### ▲注意

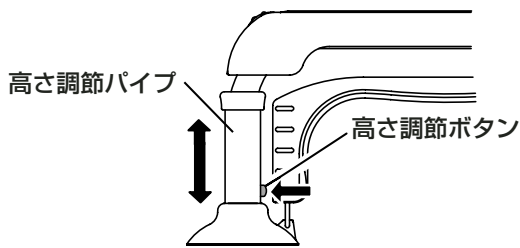
- 高さ調節パイプが4本とも同じ高さに調節されていることを使用前に確認して下さい。4本全ての高さが同じでないと本品が傾き、転倒する恐れがあります。
- 高さ調節ボタンが穴から飛び出していることを使用前に確認して下さい。調節パイプが不意に動き、転倒する恐れがあります。
- 万一破損した場合は使用を中止して下さい。ケガをする恐れがあります。
- 滑り止めマットやスノコなどの上では、吸盤が効きませんので使用しないで下さい。
- 浴そう内では吸盤全てが固定されていることを確認してから使用して下さい。
- 吸盤解除レバーを使用せずに本品を取外さないで下さい。脚や天板を持って、無理に上へ引っ張ると、天板や吸盤が外れる場合があります。

### 重要

- 本品の改造はしないで下さい。また、部品の代用品は使用しないで下さい。
- 直射日光に当てないで下さい。変形・変質の恐れがあります。
- 火気に近づけないで下さい。変形・変質の恐れがあります。

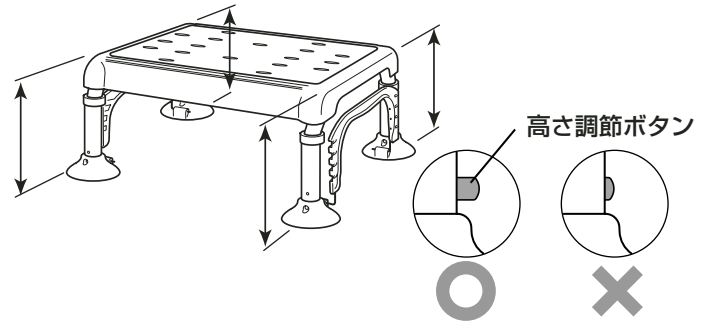
## 脚の高さ調節方法 L型、M型、H型共通(図はM型です)

### 1 高さ調節ボタンを押す



高さ調節ボタンを押しながら、高さ調節パイプを上下に動かして使いやすい高さに調節して下さい。

### 2 高さを確認する



4脚とも同じ高さに調節されていることと、高さ調節ボタンが穴から出ていることを確認して下さい。

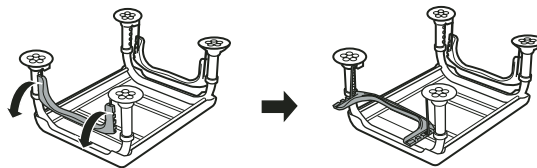
#### ▲注意

- 高さ調節パイプが4本とも同じ高さに調節されていることを使用前に確認して下さい。4本全ての高さが同じでないと本品が傾き、転倒する恐れがあります。
- 高さ調節ボタンが穴から飛び出していることを使用前に確認して下さい。高さ調節パイプが不意に動き、転倒する恐れがあります。

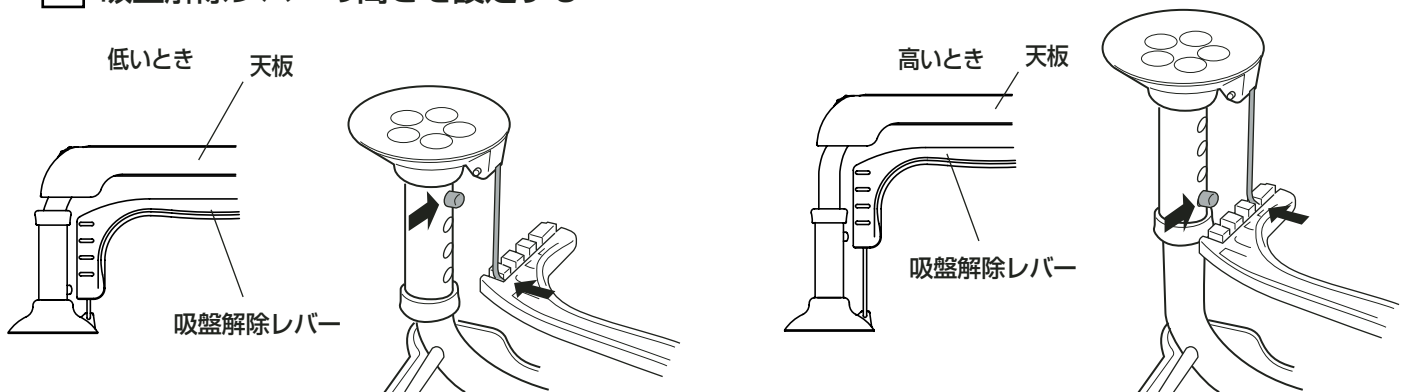
## 吸盤解除レバーの高さ調節方法 M型、H型共通(図はM型です)

M型とH型は天板の高さに合わせて吸盤解除レバーの位置が調節できます。出荷時は一番低い位置にセットしてあります。

### 1 吸盤解除レバーの外し方

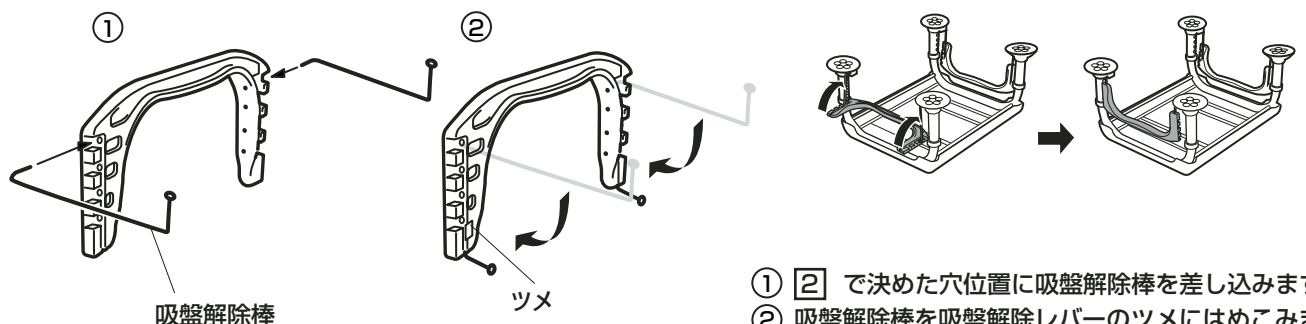


### 2 吸盤解除レバーの高さを設定する



吸盤解除レバーの位置は、使いやすい位置に設定して下さい。

### 3 吸盤解除棒を吸盤解除レバーに固定する



- ① ② で決めた穴位置に吸盤解除棒を差し込みます。
- ② 吸盤解除棒を吸盤解除レバーのツメにはめこみます。

## 取付け、取外し方法

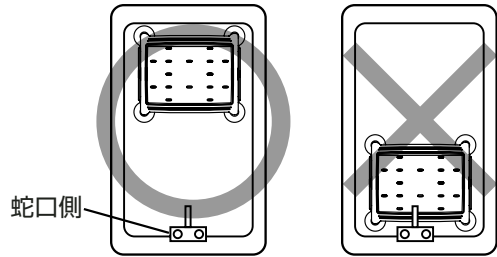
使用前に必ず天板、天板シート、吸盤、吸盤解除レバーがしっかり固定されているか確認して下さい。

### 1 浴そうへの設置位置

浴そうの排水口と反対側の位置に設置して下さい。

#### ▲警告

- 浴そう内の給水口、給湯口、蛇口の近くで使用しないで下さい。やけどの原因となり危険です。
- 浴そう内の排水口の近くで使用しないで下さい。止水栓の鎖が邪魔になり危険です。

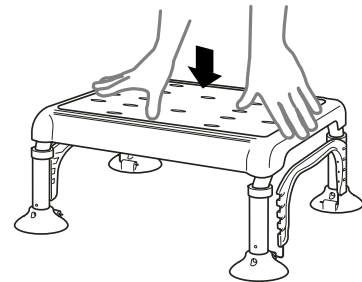


### 2 本品の取付け方

吸盤が浴そうの底面に吸い付くまで両手でしっかりと押さえつけて下さい。

#### ▲注意

- 浴そうにお湯をはる前に本品を取付けて下さい。浴そうの底面と吸盤の中にお湯が入って吸着しにくくなります。
- 脚を軽く持ち上げるようにして、吸盤が浴そうに確実に吸着しているか確認して下さい。

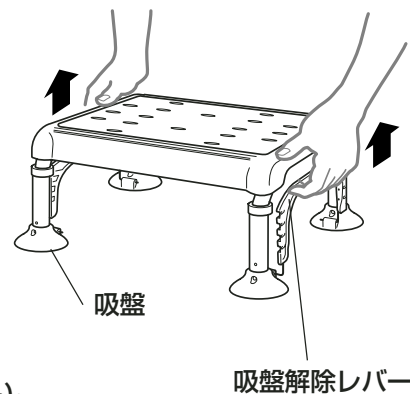


### 3 本品の取外し方

天板の外側を持ちながら、吸盤解除レバーの中央部を軽く垂直方向に引き、吸盤を解除します。

#### ▲注意

- 脚や天板を持って、無理に引っ張らないで下さい。天板や吸盤が外れる場合があります。



## 取付けできない場合

つぎのような浴そうには底面に吸盤が吸い付きませんので使用を避けて下さい。

- 浴そうの底に滑り止めの凸凹がある場合
- 浴そうの底に凸凹の感じられるキズやざらつきがある場合
- スノコ、タイル等、設置面に凸凹がある場合

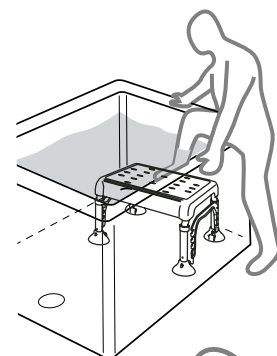
## 使用方法

…使用者がご自身の安定を十分に保てない場合は、介助者の付き添いの上使用して下さい。

・使用前に必ず吸盤がしっかりと固定されているか確認して下さい。

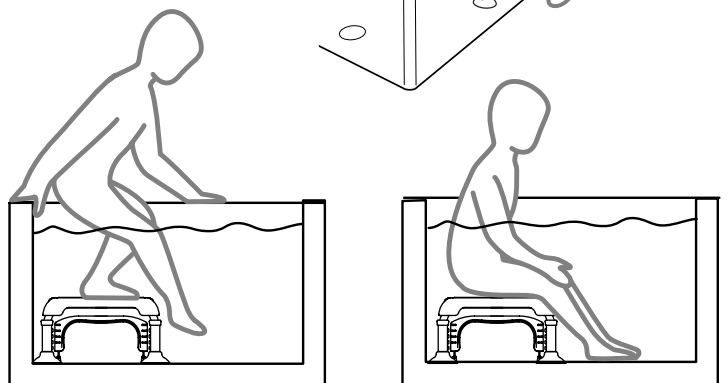
### 1 浴そうに入る

- ①浴そうのふちや、手すりなどをしっかり持って、片足ずつゆっくりと浴そう台に足を乗せて下さい。この時、必ず天板シートの上に足を置いて下さい。
- ②浴そう台から片足ずつゆっくりと浴そう内に足を移し、静かにお湯に体を沈めて下さい。



### 2 浴そうから出る

体の向きを変えて、入るときと逆の手順で行って下さい。



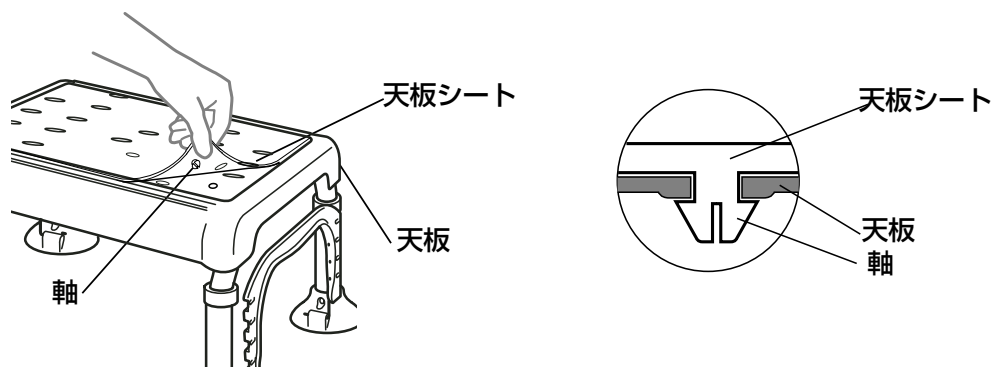
#### ▲警告

- 天板の端に足を置かないで下さい。片方の脚が浮き上がり、転倒によるケガの原因となり、大変危険です。

#### ▲注意

- 本品の上で横方向に強い力を加えると、吸盤が滑ることがありますのでご注意下さい。

## お手入れ上のご注意



- 天板シートを外す時は、9カ所の軸を1コずつゆっくりと外して下さい。
- 天板シートを取付ける際は9カ所の軸全てを強く押し込み、軸の先端が天板の裏に完全に飛び出していることを確認して下さい。
- 酸性・アルカリ性洗剤、ベンジン、シンナー、および、クレンザー、たわしなどの使用は、製品の変質・変色・傷みの原因となります。
- 熱湯をかけないで下さい。変色・変形の原因となります。
- 直射日光の当たる場所に保管しないで下さい。ひび割れ変色の原因となります。
- 濡れたままで保管するとカビが発生しやすくなりますので、使用後は乾いた布などで水気を拭き取って下さい。
- 適量に薄めた中性洗剤をしみ込ませた布またはスポンジで汚れを取り、水洗いした後、乾いた布などで水分をきれいに拭き取って下さい。

## 仕 様

品 名	浴そう台 高さ調節付 L型	浴そう台 高さ調節付 M型	浴そう台 高さ調節付 H型
サイズ	幅 43×奥行37.5×高さ 13.5~15(cm)	幅 43×奥行37.5×高さ 17.5~22(cm)	幅 43×奥行37.5×高さ 22~31(cm)
設置時高さ	12.5~14(cm) 2段階	16.5~21(cm) 4段階	21~30(cm) 7段階
天板寸法	幅 38×奥行30 (cm)		
材 質	天板 : ポリプロピレン	天板、吸盤解除レバー : ポリプロピレン	
	天板シート、吸盤 : エチレンプロピレンゴム	天板シート、吸盤 : エチレンプロピレンゴム	
	脚、吸盤解除レバー : ステンレス鋼	脚、吸盤解除棒 : ステンレス鋼	
重 量	2.5kg	2.7kg	2.9kg

この商品の品質で、お気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡下さい。

### 株式会社 リッチェル

富山市水橋桜木136 〒939-0592 お客様相談室/TEL(076)478-2957 (受付時間:土日、祝祭日を除く平日9:00~17:00)  
<http://www.richell.co.jp/>

緩衝材 : PS  
袋 : PE